

(様式7)

## 公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成27年11月27日)

事業コード	H27-建-継-03		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般県道 川添下浜停車場線		担当課長名	佐藤 和義
箇所名	秋田市下浜羽川		担当者名	田森 清美
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光、交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

## 1. 事業の概要

事業期間	H23 ~ H30 (8年)	総事業費	8.5 億円	国庫補助率	7/10																																																																	
事業規模	○延長L=2,058.7m、幅員W=6.0(8.5)m (1.25+3.00+3.00+1.25) 歩道なし																																																																					
事業の立案に至る背景	○川添下浜停車場線は、秋田市雄和黑瀬から秋田市下浜羽川に至る一般県道である。沿線住民の生活道路として、また、夏期には下浜海岸と内陸部を結ぶ観光道路としても利用されている。 このうち地域内は、家屋が密集しており幅員も狭く急カーブも連続しているため、大型車のみならず普通車同士のすれ違いも困難な状況である。また、通学路指定路線になっているものの歩道もないため、非常に危険な状態で通学していることから、円滑な交通の確保及び安全安心な生活空間の確保を図るものである。																																																																					
事業目的	○通学路における児童・生徒の安全確保 ○大型車の走行、車両のすれ違い困難箇所の解消 ○下浜道路へのアクセス道路としての役割																																																																					
事業費内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画時</th> <th>評価時</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>850,000</td> <td>850,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>690,000</td> <td>690,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>69,000</td> <td>69,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>91,000</td> <td>91,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  国庫補助</td> <td>560,000</td> <td>560,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県債</td> <td>228,000</td> <td>228,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>62,000</td> <td>62,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						計画時	評価時	増減	理由等	事業費	850,000	850,000	0		経費					工事費	690,000	690,000	0		用補費	69,000	69,000	0		その他	91,000	91,000	0		内訳					国庫補助	560,000	560,000	0		県債	228,000	228,000	0		その他					財源内訳					一般財源	62,000	62,000	0		事業内容	調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工		
	計画時	評価時	増減	理由等																																																																		
事業費	850,000	850,000	0																																																																			
経費																																																																						
工事費	690,000	690,000	0																																																																			
用補費	69,000	69,000	0																																																																			
その他	91,000	91,000	0																																																																			
内訳																																																																						
国庫補助	560,000	560,000	0																																																																			
県債	228,000	228,000	0																																																																			
その他																																																																						
財源内訳																																																																						
一般財源	62,000	62,000	0																																																																			
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工																																																																				
事業の進捗状況	○平成26年度末で事業進捗率37%(用地進捗率は39%)。																																																																					
事業推進上の課題	○一部用地交渉が難航している。 ○埋蔵文化財の調査																																																																					
関連する計画等	○国道7号「下浜道路」																																																																					
情勢の変化及び長期継続の理由	○国道7号「下浜道路」平成31年度供用予定。																																																																					
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>路線整備率</th> <th>整備率(整備済み延長/路線実延長)</th> <th>低減指標の有無</th> <th>○有 ●無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の種類</td> <td>○ 成果指標 ● 業績指標</td> <td></td> <td>データ等の出典</td> <td>道路課調べ</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>72.8 %</td> <td></td> <td>把握の時期</td> <td>平成27年 4月</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>74.3 %</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td>102 %</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					指標名	路線整備率	整備率(整備済み延長/路線実延長)	低減指標の有無	○有 ●無	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		データ等の出典	道路課調べ	目標値 a	72.8 %		把握の時期	平成27年 4月	実績値 b	74.3 %				達成率 b/a	102 %																																											
指標名	路線整備率	整備率(整備済み延長/路線実延長)	低減指標の有無	○有 ●無																																																																		
指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		データ等の出典	道路課調べ																																																																		
目標値 a	72.8 %		把握の時期	平成27年 4月																																																																		
実績値 b	74.3 %																																																																					
達成率 b/a	102 %																																																																					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	○羽川地区の日常生活を支える道路であるが、幅員が狭く急カーブも連続しており、車両及び歩行者相互の安全な交通空間確保のためバイパスによる道路整備が必要である。	12点
緊 急 性	○通学路であるにもかかわらず幅員狭小で歩道もないため、児童・生徒の通学は常に危険な状態にさらされている。(住宅密集地であるこの地域の大型車混入率は14.0%である。一般県道の平均値10.8%を上回っている。)	15点
有 効 性	○住宅密集地を避けバイパスとして整備されることから地域住民の安全性が向上する。 ○下浜道路から工業団地へのアクセスが向上し、企業誘致など地域活性化にも有効である。	30点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.46であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 9.4億円 ・総便益の現在価値 13.7億円 ○計画交通量 400~3,600台/日となっている。	13点
熟 度	○平成26年度末の事業進捗率は37%である。	10点
判 定	ランク ( ●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ )	80点
	緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。
----------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 道路改築事業（地域内・生活圏交通促進）

事業コード ( H27-建-継-03 )  
箇所名 ( 秋田市下浜羽川 )

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車道幅員5.0m</li> <li>・最小半径25m</li> <li>・冬期堆雪巾なし</li> </ul> 計 3箇所
		・車道幅員<5.5m	2箇所	6		
		・最小半径<100m	1箇所	4		
		・最急勾配>5%	0箇所	0		
		・冬期堆雪巾なし				
		道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	7	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路指定で歩道なし</li> <li>・事故率89.4件/億台km</li> </ul> 計 2件
		・現道の混雑度≥1.0	4件該当	6		
		・現道の旅行速度≤30km/h	3件該当	5		
		・現道の事故率≥50件	2件該当	4		
		・通学路指定で歩道なし	1件該当	2		
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0				
計				15	12	
緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無	あり	10	10	国道7号「下浜道路」
		・県の主要プロジェクト	あり	0		
		・地域振興プロジェクト				
		・ほ場整備等の他事業				
		緊急度の高い課題の有無	あり	5	5	通過交通の分離により集落内歩行者の安全向上
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0				
計				15	15	
有効性	道路の位置づけ	生活圏30分形成道路等	該当する	7	7	
		該当しない	0			
		救急医療施設へのアクセス道路	該当する	7	7	
		該当しない	0			
		地域防災計画画上重要な道路	該当する	7	7	
		該当しない	0			
		社会変化による事業の必要性	必要性が高い	9	9	幅員狭小で急カーブが多数あり、歩道も無いため歩行者の安全確保等に支障あり
		低下傾向	6			
必要性が低い	3					
計				30	30	
効率性	事業の投資効果等	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	B/C=1.46
		1.0未満	0			
		計画交通量	5,000台/日以上	5	3	400~3,600台/日
		1,000台/日以上~5,000台日/未満	3			
		1000台日/未満	0			
		コスト縮減	あり	5	0	
		なし	0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	etc 大規模なインフラ etc 部分的なインフラ etc 現道拡幅		
既投資額の部分的損失	4					
既投資額の損失が少ない	3					
計				20	13	
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	5	進捗率37%
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
			未着手	0		
		用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	5	進捗率39%
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
			未着手	0		
計				20	10	
合計				100	80	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		